

「ICTによる成長戦略」の推進にあたって

平成25年4月15日
第2回ICT成長戦略会議
総務大臣 新藤義孝

〔具体的なアウトプット〕

各会議の座長及び座長代理におかれては、平成26年度予算要求につながる具体的、実践的なアウトプットをプロジェクトベースで早急に取りまとめていただきたい。

〔関係省庁との連携〕

その際、総務省がICTという各省庁を貫く横串的機能を有する立場であることから、関係省庁との連携・調整をしっかりと図っていただきたい。

既に各省庁が進めている取組をICTで加速させることにより、飛躍的な効果がもたらされることを強く期待したい。

〔相互連携、省内連携〕

また、各8会議が、「ICT成長戦略会議」の傘の下、相互に連携をしっかりとって、重複や無駄のないパッケージとして、全体像、将来像を描けるようにしていただきたい。

さらに、同じく総務省内に設置されている「地域の元気創造本部」及び「G空間×ICT推進会議」との有機的な連携も図っていただきたい。

〔検討の視点〕

検討に当たっては、

- 特定地域（特区）への政策資源の集中投資
- パーソナルデータの利活用環境の改善
- セキュリティ、ビッグデータ処理等のプラットフォームの高度化
- G空間情報流通連携基盤の活用などオープンデータの推進
- ICTを徹底活用した本格的な電子政府の実現

といった横断的、共通的視点にも留意いただきたい。

〔スケジュール〕

最後に、本会議の成果を、経済財政諮問会議、日本経済再生本部、産業競争力会議、IT戦略本部等で議論されている「安倍政権の成長戦略」に反映できるよう、5月中を目途に最終的なアウトプットを提示いただきたい。